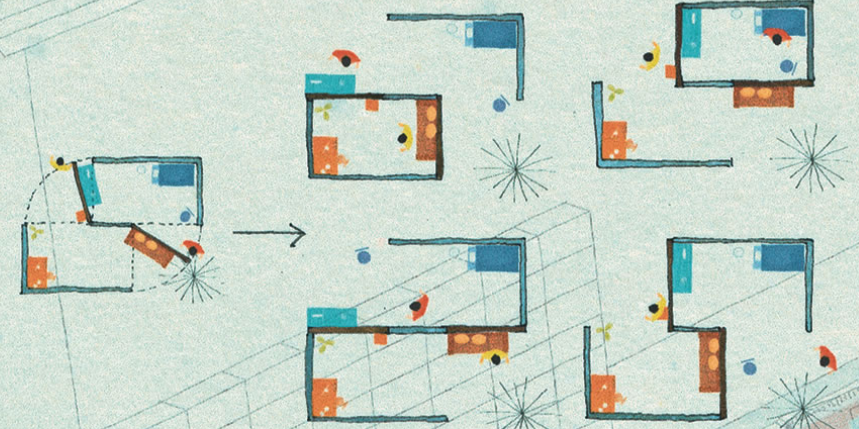


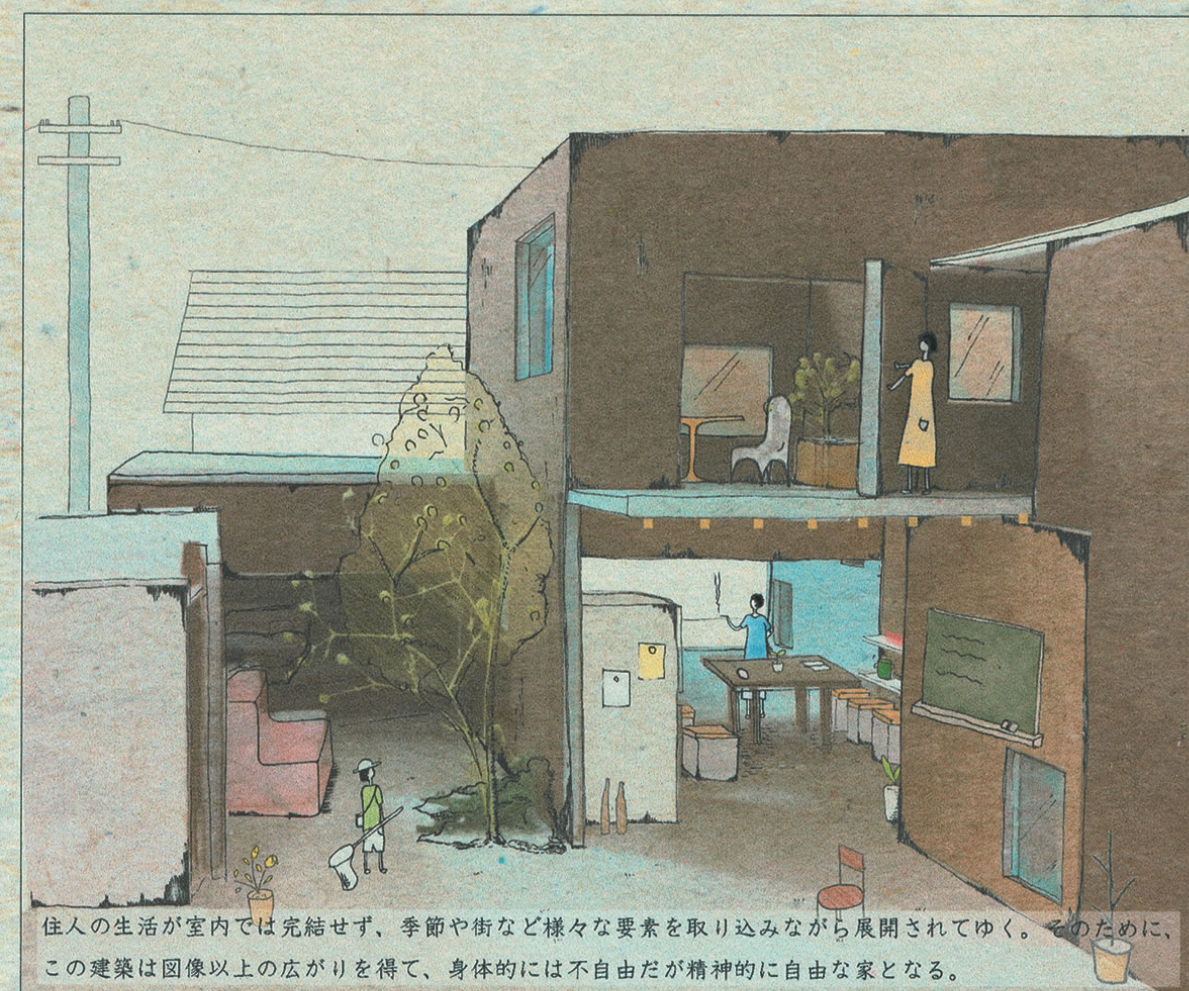
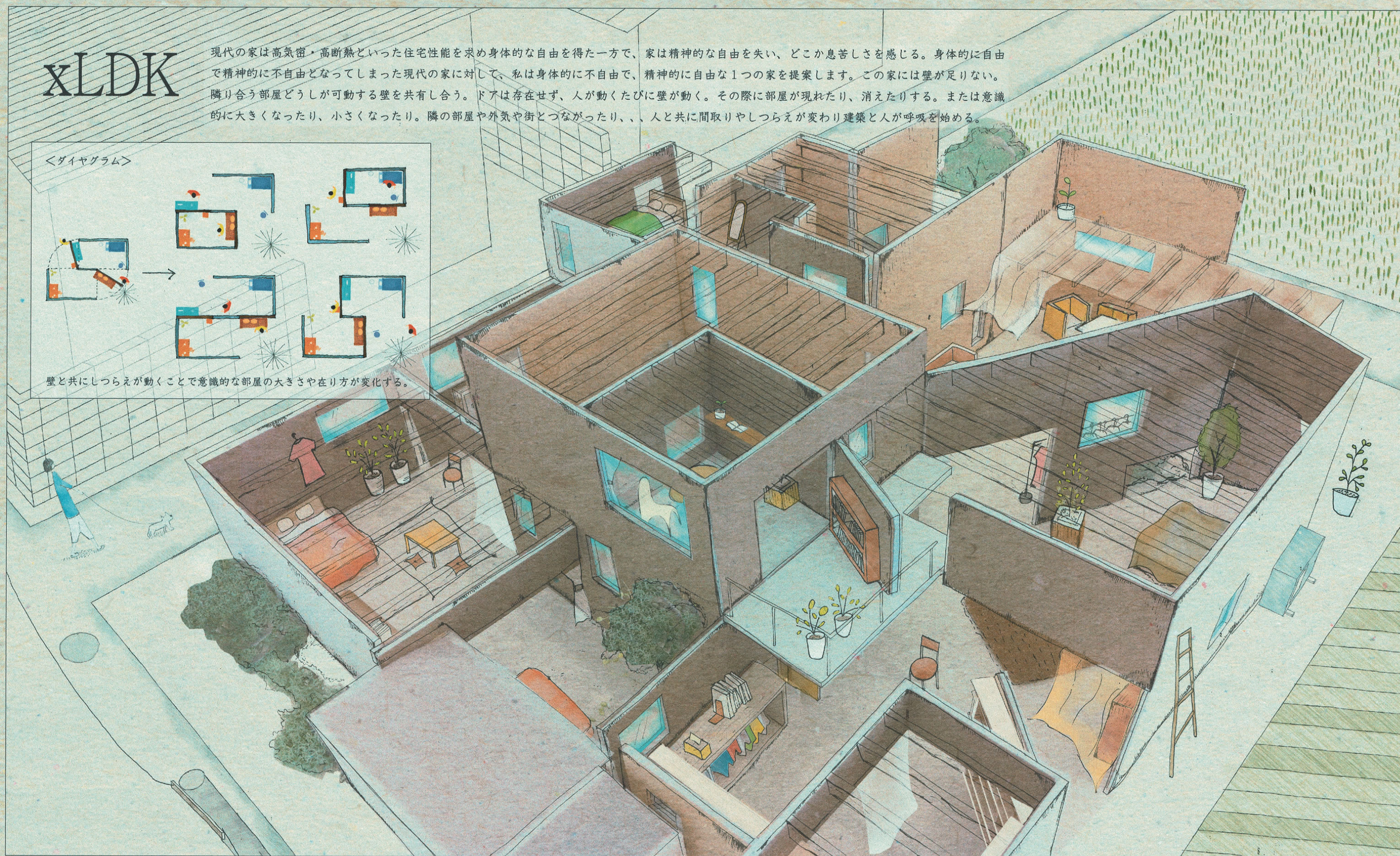
xLDK

現代の家は高気密・高断熱といった住宅性能を求め身体的な自由を得た一方で、家は精神的な自由を失い、どこか息苦しさを感じる。身体的に自由で精神的に不自由となってしまった現代の家に対して、私は身体的に不自由で、精神的に自由な1つの家を提案します。この家には壁が足りない。隣り合う部屋どうしが可動する壁を共有し合う。ドアは存在せず、人が動くたびに壁が動く。その際に部屋が現れたり、消えたりする。または意識的に大きくなったり、小さくなったり。隣の部屋や外気や街とつながったり、、、人と共に間取りやしつらえが変わり建築と人が呼吸を始める。

<ダイアグラム>



壁と共にしつらえが動くことで意識的な部屋の大きさや在り方が変化する。



住人の生活が室内では完結せず、季節や街など様々な要素を取り込みながら展開されてゆく。そのために、この建築は図像以上の広がりを得て、身体的には不自由だが精神的に自由な家となる。

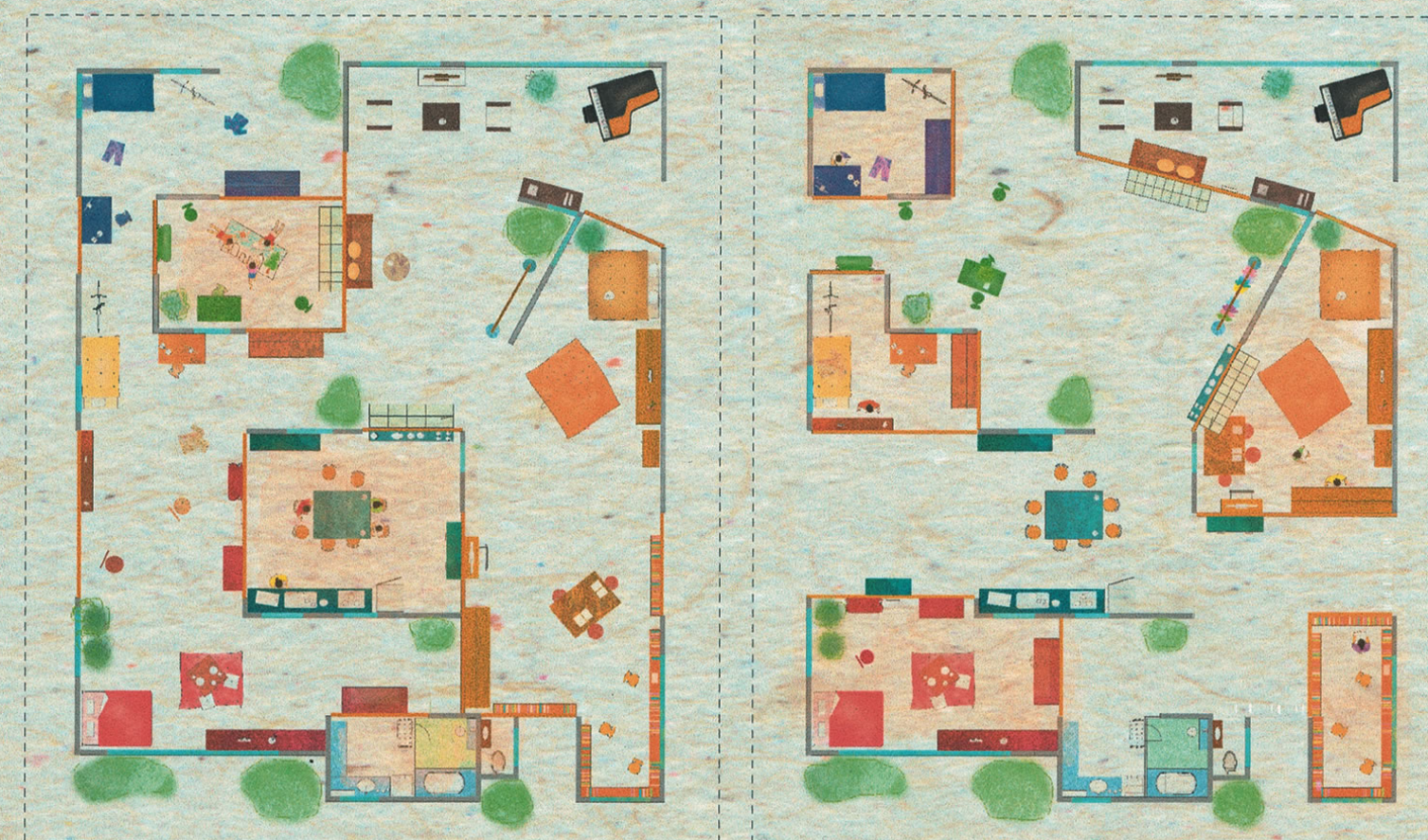


壁を取られた主寝室が外気を挟んで書庫スペースと繋がる風景。壁を他の部屋に取られ、しつらえが外部につり出されることによって部屋が半屋外空間となりながらも意識的な広がりを見せる。



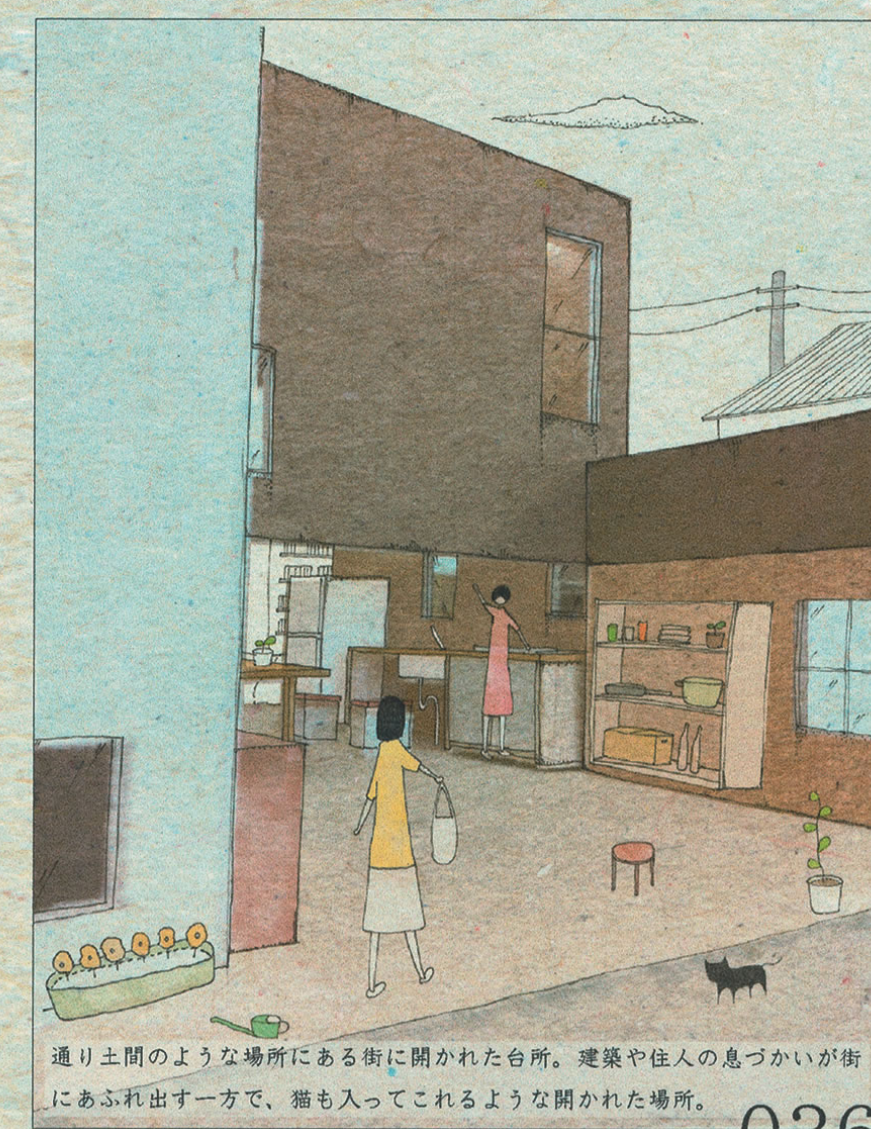
- 1 子供部屋 children's room
- 2 リビング living room
- 3 プレイルーム play room
- 4 子供部屋 children's room
- 5 主寝室 main bedroom
- 6 ダイニング dining room
- 7 副寝室 sub-bedroom
- 8 洗面室 wash room
- 9 浴室 bathroom
- 10 トイレ toilet
- 11 書庫 book room
- 12 子供部屋 children's room
- 13 ロフト loft
- 14 ルーフデッキ roof deck
- 15 書斎 study

敷地は宅地開発された場所の一角にあり、あたりには高気密・高断熱化された家々が立ち並ぶ場所である。可動式の壁にはしつらえのみならず、2階への階段も付いており、壁が移動する位置によってアクセスできる部屋も異なる。



家族で過ごすとき。
個人の部屋のかべをみんなで集まる部屋に動かすことでそこに室内を作り出す。個人の部屋はかべを取られることで外部と繋がりをもち、内部が外部にわからなくなる。また、かべにしつらえられた家具が外部に引っぱり出されることにより、部屋は大きな広がりをもつ。

まちの人と過ごすとき。
プライベートな空間である個室を閉め切ることによって、台所やプレイルームが街に対して開かれた共用空間となる。ボリュームの間に生まれる半屋外の共用空間はまちの雰囲気を取り込みながら、共用部の賑わいをまちにあふれ出させる。



通り主間のような場所にある街に開かれた台所。建築や住人の息づかいが街にあふれ出す一方で、猫も入ってこれるような開かれた場所。